



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

Let's Activate Area AGRI

夏日あり、肌寒い日ありと天候の定まらない中、大勢の皆さまに「有償援農ボランティア活動」に参加していただきありがとうございました。

- ・畑の草取り ・桑畑の除草 ・里芋の選別 ・出荷作業
- ・トマトの定植 ・トマトの芽かき ・野菜苗の定植
- ・きゅうりの吊るし ・ハウスの片づけ ・草刈り

📌 4 月の援農時間 :1189h 対象農家 :12 軒 参加者 :43 人
援農今期累計 3581h (前年比 123%)

援農体験記 無料研修を体験して 元八王子町 長崎潤也

無料研修の事で私が、第 1 号という事で意見を求められました。あくまで、私の一意見なので賛否両論はあると思いますが。結論からいうとその制度に反対です。それとも私の場合はそれでも良かったと、＜一部省略＞無料研修あるならまず、すずしろ 22 の会員規約にその事を記載すべきでしたね。無料研修の意図はよく拝聴していないのでわかりませんが憶測でいえば 1 に、お試しという事、援農の、経験がない対象になる可能性から、ノルマがあるとすれば人並みにスムーズにできないと、いったところもあります。継続できるか向いていないか委ねる 2 日間という意味合いかもしれません。第二にあくまでボランティアである事、金銭面で得られない物、自然にふれ、農主の方々の温かさに触れるなど貴重な体験、いわばプライスレス。ただ、これから暑い季節に入り仕事の度合い違ってくるでしょう、交通費、金銭面に余裕のない方にとっては府に落ちるかと言っては語弊があると思いますが、とりあえず夏の期間だけでも無料研修はなくてみて、様子をみてはと感じた次第です。まだ、援農を通して私が感じた事は、緑に囲まれた空気のおいしい場所では心が洗われます。また、私達が口にしてる野菜を育てるのに、色んなプロセスを経ていると知り体験できるのも醍醐味の一つ。それぞれ農主さんのこだわりも！自分は、不器用で何かと足引っ張ってしましますが、温かい人々の優しさリスペクトしていきたいです。つい先日、カリフォルニアの友人からメールがきて、農村部に農業に従事して 6 エーカーの小規模な有機栽培農場を州政府から貸し付けられたと聞きました。我が国でも、就業意識調査によると、4 割の学生が農業研修に興味があると、立ち読みで知りました。農業の魅力、醍醐味を見だして色々な技術、人材能力を有することの機会として、又向いてと思ったら新たな就業のオルタナティブとしてやりたい人はシフトできるように情報提供研修、経験、参入準備など考える事は多そうです。長くなりました特筆すべきところはこんなところです。新参物がおこがましく偉そうだったら悪しからず。

イベント情報

挿木講習会 (6 月 30 日土曜日)

高月水田見学 (7 月 10 日木曜日) 9:30~12:00 を予定しています

第 4 回理事会でのテーマから

事務局の ☎ 042-625-5656

5 月 19 日 PM6:00~8:40 台町市民センター

理事 10 名、監事 1 名、計 11 名参加 (理事 1 名は長期病欠)

- 1) 理事の担当制について 呼称は分科会 (総務・援農・地産地消・遊休地開発)
各分科会の作業範囲を協議
構成メンバー・担当理事と会員 (人数は限定しない)
- 2) 各分科会の課題を話し合う
- 3) 援農活動の検討
援農謝礼金の取り扱い (時間当たり 750 円と 550 円がある)
・不公平感、不満を解消するため 750 円を廃止する。
・援農謝礼金からの事務費 100 円は援農時間の拡大等で 80 円に改正する
- 4) 会費未納者に納入をうながす。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

すずしろ 22 の皆さん大根作りをしてみませんか？

大根は、春と秋の年 2 回作ることが出来ます、
春は 3 月中旬から 4 月中旬ではトンネルマルチ、4 月下旬から 5 月上旬はマルチ寒冷紗、春大根の注意点は、早撒き種に気を付けないと花が咲いてしまいます。

秋大根は、8 月中旬から 9 月 20 日頃までに撒くことが出来ます。

大根は、アブラ虫・キスジノミハ虫・アオ虫などの虫に注意をする。

また、作る畑に 3 か月前にマリーゴールド又は春菊の種を撒いて花が咲くまでおいて、細かく砕いてすきこむと、きれいな肌の大根ができますので、試してみてください。

ちなみに、ナメクジとカタツムリは、お酒とビールが大好きなので、飲み残したお酒やビールがあったら平皿に入れて、平らな所に置いておくと酔って溺れて死んでしまうそうです。

私は、すずしろ 22 の会員で小比企町で農業をしています。何かありましたらお電話ください。

中西 忠一

☎ 042-635-3537



事務局の新人コーナー等は来月号 (来月上旬発行予定) に